

< 記載例 >

(3) 農用地及び農業生産施設												
ア農用地						イ農業生産施設						
区分	所在地		地目	現状 (a)	目標 (R ○ 年) (a)	種別	所在地		規模			
	都道府県名	市町村名					都道府県名	市町村名	現状		目標 (R ○ 年)	
									棟	m ²	棟	m ²
所有地	福岡県	福岡市	田	30	30	パイプハウス	福岡県	福岡市	3	3,000	5	5,000
						乾燥調製施設	福岡県	福岡市	1	30	1	30
借入地	福岡県	福岡市	田	50	80							
	福岡県	福岡市	畑	50	70							
その他												
経営面積合計				130	180	経営面積合計				3,030	5,030	
③生産方式の合理化に関する現状と目標・措置						④経営管理の合理化に関する現状と目標・措置						
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農地が分散しており作業が非効率 ○○を露地栽培しているが、収量・品質が不安定 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業効率の向上及び経営規模拡大 ○○の収量増加と品質向上 <p>【措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな農地の借り入れとともに集約を図り、○○機械を導入 パイプハウス○棟○m²を新たに整備し○○を施設栽培する。 						<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ノートに作業日誌や売上・経費等を記載 単式簿記による白色申告を行っている <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> データによる経営管理・分析を行い、効率的な経営を行う 複式簿記による青色申告を行う <p>【措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> パソコン及び経営管理・会計ソフトを導入する 積極的に経営管理等に関する研修会等に参加する 						
⑤農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置						⑥その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置						
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族労働者○名のみで対応しており繁忙期に人手が不足 両親の高齢化により、労働力が低下 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 繁忙期に臨時雇用を確保し、家族の労働時間を減らし休日制を導入 家族経営協定に基づく家族の役割分担の明確化 <p>【措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農作業ヘルパーを活用 経営継承を視野に入れた家族経営協定を策定する 						<ul style="list-style-type: none"> 令和○年度に○○融資の活用により、○○を導入。予定貸付額は○○万円。 ※融資の活用予定がある場合には、予定年度、予定資金、予定貸付額等を記載してください。 <p>【現状】 直売所への出荷が中心だが、他の生産者と競合している</p> <p>【目標】 販路の拡大</p> <p>【措置】 単価がより高いスーパーのインショップへ出荷</p>						

「その他」には、特定作業受託を受託する農地の面積を記載してください。
 ただし、申請者が収穫物の販売委託を引き受けることにより販売名義を有し、かつ、当該販売委託を引き受けた農産物に係る販売収入の処分権を有するものに限り、
 ※特定作業受託とは、水稻にあつては、耕起・代かき、田植え及び収穫・脱穀、
 その他の作目にあつてはこれらに準ずる農作業をいう。

< 記載例 >

(参考) 経営の構成

(1) 構成員・役員									(2) 雇 用 者								
氏 名 (法人経営にあっては 役員の氏名)	年 齢	性 別	代表者との 続柄(法人経 営にあって は役職)	現 状			見 通 し (R ○ 年)			常時雇 (年間)		0 人		見 通 し		1 人	
				担当業務	主たる 従事者	年間農業 従事時間	担当業務	主たる 従事者	年間農業 従事時間	実 人 数	現 状	0 人	見 通 し	実 人 数	現 状	0 人	見 通 し
福岡 太郎	65	男	代表者	経営全般	○	2,300	農作業全般		500	臨時雇 (年間)		0 人		見 通 し		50 人	
福岡 花子	64	女	妻	経 理		1,000	農作業全般		500			0 人		見 通 し		2 人	
福岡 一郎	35	男	子	農作業全般		2,000	経営全般	○	2,000			0 人		見 通 し		50 人	
福岡 二郎	32	男	子	農作業全般		1,500	農作業全般		2,000			0 人		見 通 し		50 人	

「主たる従事者」とは、農業経営で主体的な役割を担う者をいいます。
 家族経営の場合は世帯主等、法人経営の場合は経営者・役員等、個々の
 経営の実態に応じて判断してください。

(別紙1) 生産方式の合理化に係る農業用機械等の取得計画

農業用機械等の名称	数量
パイプハウス 6m×50m=300㎡	2棟
田植機 3条	1台

「臨時雇 (年間)」の「延べ人数」は、
実人数×日数 (1日8時間として)で
 計算した人数を記入
 例：1日4時間×2人を50日雇う場合、
 4時間×2人×50日=400時間
 400時間÷8時間=50人

目標年 (5年後) までに
 新設、更新する予定の主要な
 農業機械・施設があれば記載

(注) 「農業用機械等の名称」欄には、生産方式の合理化のために、取得する予定の農業用の機
 械及び装置、器具及び備品、建物及びその附属設備、構築物並びにソフトウェア等を記載
 する。(②「(3) 農用地及び農業生産施設」に記載しているものは記載不要。)

